

機械器具 39 医療用鉗子 鉗子（10861001）
一般医療機器

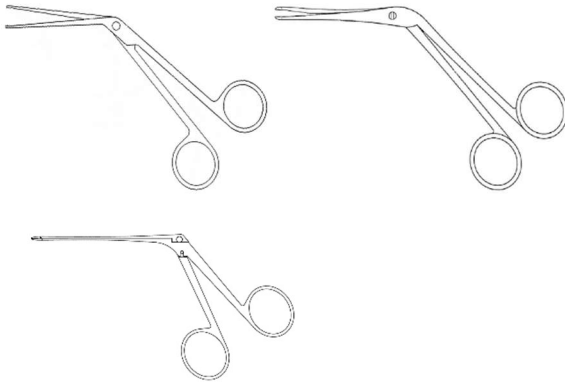
耳 用 鉗 子

【禁忌・禁止】

- ・ 洗浄前に一次消毒は行わないこと。
[付着物の変性固着の原因になります]
- ・ 使用前に必ず先端部点検を実施し、異常がある場合は使用を中止すること。
[嘴部の可動軸(ピン)が使用状況や環境により緩むことがあります。使用前に必ず先端軸部(ピン)の飛び出しやガタつき等の異常がないか確認してください。そのままご使用すると先端部の脱落や本品の使用ができなくなります。]

【形状・構造及び原理等】

形状(代表例)



種類

- ・ 耳用鉗子 小此木氏
- ・ 耳用鉗子 ハルトマン氏
- ・ 耳用鉗子 ハルトマン氏 先端開閉式

体に接触する部分

各部の名称	原材料
本体（先端）	ステンレス

【使用目的又は効果】

臓器、組織又は血管を非外傷性に把持、結合、圧迫又は支持するために用いる手術器具であり、再使用可能である。

【使用方法等】

1. ハンドル部を、操作することにより先端部が開閉し、臓器、組織又は血管を非外傷性に把持、結合、圧迫又は支持する。
2. 本品は未滅菌ですので、使用前に必ず洗浄、滅菌を行ってください。([保守・点検に係る事項]参照)

【使用上の注意】

- ・ 使用前の保守油除去
新品器具類は作動を滑らかする等の目的で保守油が付いています。保守油を次の方法により除去してから洗浄・滅菌処理を行ってください。保守油が付着したまま高压蒸気滅菌すると器具が変色する原因になります。
[保守油の除去方法]
エタノール浸漬または保守油除去用洗浄剤により保守油を除去し乾燥を行ってください。一度で除去しきれない場合は、2～3度同様の作業を行ってください。
[保守油除去後の処理]
潤滑剤は水溶性潤滑剤を使用してください。

【保管方法及び有効期間等】

保管方法

貯蔵・保管は洗浄をした後、腐食・変色・シミを防ぐために保管期間の長短にかかわらず必ず乾燥させてください。
可動部は水溶性潤滑剤を塗布し保管すること。

使用期間

製品の一部分にでも、変色・腐食・キズ・破損・サビなどの損傷や劣化が見られた時、製品性能の維持が出来ない場合は、新しい製品と交換してください。

【保守・点検に係る事項】

取扱い

- ・ 粗雑な扱いは避け、十分注意して取り扱いってください。
- ・ 洗浄や滅菌前後には、キズ・破損などの損傷や変色・腐食・サビなどの劣化が無いことを必ず確認してください。
- ・ 本品はステンレス製のため、定期的に“着色・錆除去剤”を使ったメンテナンスをお薦めします。

洗浄

- ・ 使用後は付着した血液・体液・組織及び薬液等が乾燥する前に、速やかに柔らかいブラシを使用し洗浄し、汚れや付着物を取り除いてください。磨き粉や金属ウール等の使用は製品表面へのキズや損傷の原因になりますので使用しないでください。
- ・ 洗浄に使用する洗剤は医療用洗剤(pHが中性に近い「 $\text{pH}6\sim8$ 」洗剤)を使用してください。
- ・ 洗浄装置(ウォッシャー・ディスイnfekター等)を使用するときは、器具同士が接触して損傷することがないように注意しパケットに収納して洗浄してください。
- ・ 洗浄に使用する水は、蒸留水や脱イオン水をご使用ください。水道水は中に含まれる残留塩素及び有機物質が腐食・変色・シミの原因となります。また、洗剤の残留がないよう十分すすぎを行ってください。
- ・ 洗浄後は直ちに滅菌を行うか、または直ちに乾燥させてください。湿った状態で長時間放置すると器具表面への腐食または変色・シミの原因となります。

滅菌

- ・ 適切な条件で必ず滅菌を行ってください。
- ・ 本製品は下記滅菌が可能です。
 - ☐ 高压蒸気滅菌(オートクレーブ滅菌)
 - ☐ プラズマ滅菌
 - ☐ LTSF滅菌
 - ☐ EOG滅菌

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者 株式会社グリーンフット

〒959-0261新潟県燕市吉田鴻巣大坪590番地
Tel:0256-92-6661